

広報みしま

町のすがた

(8月1日現在)

人口	男	3,352人(+2)
	女	3,544人(-1)
	計	6,896人(+1)
世帯数		1,649 (-4)

()は7月1日との比較



第173号
毎月15日発行
定価1部20円

昭和57年8月15日
発行 新潟県三島郡三島町役場
〒(025842) 代 2221
印刷 長岡市 ㈱中越タイプ社



9目の当番は左から丸山幸司さん、東吉光さん、吉見友子さんの3人

30年も続く『夜回り』 — 吉崎 —

各部落で「火の用心」を呼びかける拍子木の音が聞かれなくなって久しい。ところが、吉崎部落では今もその「夜回り」が続けられていた。吉崎の大火といわれ五世帯も焼け出された火災があったのが昭和二十七年七月、それ以後本格的に始めたのが、延々三十年後の今日まで続けられているという。

四月から十一月までの毎夜、九時三十分から輪番で三、四人ずつ組になって回る。松村清吉区長さんは「吉崎は鍛冶まち。戦後の復興が一段落したあたりで当時も、今のような不況期だった。寝ずで稼ぎ出すしかなかった。その結果が……あの恐ろしい体験が今も続けさせているんだと思う」と語る。

東西南北

老人保健法 もう一つの顔

あまり知られていないことですが、老人保健法の言い出しっぺは国保です。

平均して老人の診療費は、ほかの人たちの三倍で、その老人を「退職したから国保へ行け」というのは困る。ところがその論拠です。

ところで老人保健法は、老人の一部負担金が前面にでていますが、もう一つの顔として次のことがあります。

それは、全国の老人をひとまとめにして、その診療費を各保険が老人の加入率を考慮しないで、被扶養者を含む加入者の割合で負担し合おうというものです。

そうすると、老人の多い三島町のような、老人加入率の高い国保はおおいに助かりますが、反対に損をする保険もでてきます。

そこで制度としては、半分はその保険で負担し、残りの半分を全国プールする方法がとられました。

それでも困る。という保険もあって、急激な負担増、負担減を緩和する暫定措置もとられて、当初の構想から一歩も二歩も後退しましたが、ようやく来年の二月から動き出すことになりました。



自分たちの手で 毘沙門堂 大字蓮花寺

八月八日、大字蓮花寺の下組(三十三戸東樹確治代表)の人たちが共同で立派な毘沙門堂を完成させました。

明治三十年代に建てられたという旧毘沙門堂の傷みが激しく維持が困難になったというので、当初は「御本尊」だけを安置するごく小さなお堂の計画だったが、お堂の前に建つ柱(向拝柱)がしっかりしていることから、結局これをそのまま使った。本格的なお堂になったという。五平方ほどの拝殿に向拝柱がついて、なかなかの風格だ。

屋根部分こそ外注に出したものの、みんなが腕・手間・力を出し合った、文字どおり手作りのお堂。村の歴史に新たなページを加えることだろう。



完成した毘沙門堂

電気みたいに大切な女房



脇野町
小川和江さん

小川さんは昨年八月、電力会社の出張所長として赴任した御主人と親子五人家族。三島町の住民となって丸一年と、まだ日は浅い。

「転勤商売だから大変です。私は大丈夫、あんまり気にしない性格だから。でも子供たちの出張所長として赴任した御主人と親子五人家族。三島町の住民となって丸一年と、まだ日は浅い。」

く言われたという和江さんは高柳町の出身。男の子を泣かせた。柳町の欄干を渡って遊んだりの活発な少女時代だったという。「そんな具合だったから、運動は何んでも好きだった。中学校時代に打ち込んだというバレー

ボールで地域の一員として活躍したり、ミニテニス教室への参加など「住民」としての順応力は、持ち前の気さくな性格からくるのだろう。

「小さいなりにまとまっている雰囲気」というのが町の印象だそう。店での買い物や町内の忘年会でも「よそ者」という気遣いを全く感じさせない人たちがばかりということだ。

亭主関白の方、という御主人はその奥さんを「電気みたいなものでないですか。居れば当たり前だが、居ないとするとそれは不自由で。女房は大事です」と。

町おこし

> 46 <

脇野町の火消し

河内武志智

火消の始めは、江戸時代から今の東京に組織されてきたが、脇野町にも明治の半ばころから夜番、夜回りといって、火の用心、盗難防止のための隣組組織があった。これを「ガラバン」といい「カチ」を打ち、金棒を引いて夜十時と午前三時ころ町内を警戒して回った。

大字吉崎では今日もこれが続いている。

脇野町、吉崎で消防組織を始めたのは明治二十三年五月のこと。脇野町に「わ組」、吉崎に「よ組」という私設消防組ができた。

当時は、火消器具といっても幼稚なもので、蕪吐水、雲竜水と呼ばれるポンプに天水桶で吸み水を入れながら放水するものだった。

明治三十三年四月、新潟県消防規則に基づいて「わ組」と「よ組」を合併して手板署の管轄で公設脇野町消防組が発足した。当時の村長は遠藤平太、消防組頭は安達源右衛門で、消防手は百人、小頭五人、組頭一人であった。

脇野町が第一部消防組、吉崎が第二部消防組。消防器具としては、大旗二、小旗六、梯子二、腕用ポンプ二、提灯大二、小六、引き綱二、さつ又二、消口札二、天水桶二十、鋸二、斧四、蕪口二十、荷車一、橋一と、ホース数本が備付けであった。

訓練は脇野町本町の道幅の広いところが主であり、放水訓練は脇野町白山の小木城川と吉崎の樽井川が使用された。

警報は高い火の見櫓に半鐘をつり下げ、これを打ち鳴らし、打点の数と間合によって火災の遠近、集合、終了を知らせた。

櫓は組の中心であり、丈夫な支柱の上部に極めて強力な繩を数十本、円形の板に取り付けたものである。これを持つ人も達者な人で、「サシコ」の衣に頭巾をかぶり、火煙の近くの放水の水先を立てて繩をグルグル回し、これに水をかけ飛散させて火を消すという。消口札というものは、その消防組が引き上げるときに、消火したところに付ける札で、後で観覧者がその札を持ってお札に回ったものである。

屋根がとれてすっきり



生れかわる脇小校舎(北側から写す)

脇小校舎化粧直し

学校施設改修に三千二百万円

今年度、町では小中学校の老朽化が所々に大々的に手をつけることになり、学校が夏休み期間中のいま、これらの工事が三校で行われています。

なかでも大工事となったのは脇野町小学校。鉄筋コンクリート陸屋根式の校舎に木造方式の

屋根という、一風変わった方法で風雨をしのいできた同校舎も、屋根工事をしてからすでに二十五年あまり経過し、老朽化が激しいことから、この屋根をはずし、再び建築当時の姿に戻すことになったものです。

陸屋根の防水工法が進歩し、完全防水が可能になったこともその一つで、外壁の吹き付け工事、窓のサッシ化で、少なくとも

も外観は「新品同様」に生まれ変わるということです。昭和三年に建てられ、人間でいえば定年を迎える同校舎の改修。五十四歳のお色直し。費用はおよそ二千六百万円です。

このほか、日吉小学校では、屋内体育館の照明、西校舎の室内改裝、窓の取り換え費などに約三百万円、中学校でも屋内体育館の屋根がわらふき換え、床の全面張り換え工事費などで、約六百三十万円が投入されています。

工事はいずれも今月中には終了、九月の新学期には支障がありません。

「テレビの映り、バッチリ」蓮花寺、中永に共同受信施設

NHKと地元部落が共同でテレビの難視聴を解消する「共同受信施設」が昨年の逆谷に続いて、蓮花寺、中永で完成し、両部落の難視聴が解消しました。

これまで、個人や数戸共同でいろんな手を打ち、テレビはこの程度のもので、とあきらめていた両部落でも、平場並みにはつきりと映るようになり、子供

ゼロへ新たな出発



出発前のパレード隊

七月十八日、交通事故死「ゼロ」連続二千日を目指すパレードが行われました。出発に先立ち、町体育館で町交通安全協会など、関係者およそ八十人が、交通



新保地内で始まった工事

今年度施工は四十一ヘクタールほ場整備事業の第二年度工事が始められました。施工地は、新保と下河根川耕地の接している区域約四十一ヘクタールで、このうち三十一ヘクタールは一年間耕作を休んで工事を行う通年施工という区域です。工費は、約二億四千万円で、地元の山長組など四社が施工区域を分けて請負いました。



山の上で受信した電波は有線で各家庭に送られる

たちに「アンテナのせい、とごまかしが聞かなくなって困ってしまう」という、新たな悩みが生じている家庭もあるとか。それはともかく、「蓮花寺テレビ共同受信施設組合」木戸熊次組合長)を組織して完成させたこの工事、工費は約六百六十万円、このうちアンテナ塔などの主要部分をNHKが負担、支線と民放の受信施設などを地元が負担したもので、このうち地元負担に対しては、県と町が合せて九十万円を補助、実質的な各世帯の負担は二万円程度ということです。

消火器の使い方大丈夫 部落ぐるみの消火訓練

「もっと火元に」団員の指導で見事消火



十五部(鳥越)消防団

七月十一日、鳥越の第十五部消防団(小林進部長)主催による防火講習会が開かれました。最近各地で「天ぷら火災」が頻発していることから、油火災の実際と初期消火の大切さなどを地域住民から体験してもらい、恐ろしい火災を未然に防ごうと、自主的に開いたものです。

当日、部落の空地に集まった地元民などおよそ六十人は、消防本部、町消防団幹部らの説明と手ほどきで、天ぷら火災の消火実演、消火器による初期消火、



消火せん、消火の「イロハ」を熱心に勉強しました。なかでも、天ぷら火災に入った火を消す実演では、猛火をうそのように消す、ぬれ布を使った消火方法に会場のみんながびつくり、「信じられない」、「本当に」と、次々に体験志願者が試みていました。



入所者の顔もほころぶ子供たちの歌

「みしま園」に 七月三十一日の午後、この四月に開所した特別養護老人ホーム「みしま園」を、かわいい慰問団が訪れました。

慰問したのはママさんのコーラスグループ「のびのびコーラス」のジュニア部の小学生たち二十人ほど。その日、みしま園の入居者のみなさん方は、子供たちの訪問を知らされて、歩ける人はもちろん、車イスやベッドに乗ったままの人たちも次々と食堂に集まり、子供たちの歌に合わせて手で拍子をとったり、一生懸命に演じられるオペレッタ(簡単な歌劇)に大きな拍手を贈って、明るい笑顔のひとときを過ごしました。

スワッ!!火が

消火はこの要領で



〔写真〕 ①頭より高く、両手を広げて。②恐れず全体を覆うように。③消火を確認したらガス栓を締めるのも忘れずに。

◇ぬれ布の作り方 シーツくらいのものを石ケンをこすりつけて目つぶしをしたものを用意します。

これを広げやすいようにたたんで、ビニール袋に、水と一緒に入れておきます。(水はひたす程度) この袋を、火を使うそばに吊しておき、いざという時は袋を破って、写真の要領で消火します。

集落開発センター完成

大字新保



完成した 新保集落開発センター

大字新保(井村健二区長)で建設が進められていた「新保集落開発センター」が完成し、二十日に喜びのしゅん工式が行われます。

延べ床面積二一八・五九平方(約六十六坪)総工費一千五百六十万円のこのセンター、町では藤宮、瓜生に次いで三番目となります。

新保部落では、いわゆる春祭りに部落民とその出身者が車座になって酒を酌み交わし、その真中で「太夫舞」を舞うのが由緒ある伝統となっており、広々とした明るい二階の広間は、太夫舞も、これからの明るい村づくりの話し合いにも十分応えられる広さです。

みしま園では地域の人のためにこうした善意を積極的に望んでおり、これまで、町老人クラブの人たちの奉仕作業や民謡グループの人たちによる慰問などが行われています。みんなの手でこうしたボランティアの輪を広げていきたいものです。

広報カレンダー

8月	行事	9月	行事
15(日)	●三島まつり前夜祭 ●戦域対抗野球大会 ●昭和57年成人式(9:00-) ●戦没者追悼黙とう(正午)	1(水)	●ガン征圧月間(-30日) ●防災の日、防災週間(-17日) ●健康増進月間(-30日)
16(月)	●三島まつり	2(木)	
17(火)	●心配ごと相談所(13:00-16:00)福祉センター	3(金)	●与板保健所総合相談日(13:00-15:00) ●結核精密検診(9:30-11:00)与板保健所
18(水)		4(土)	
19(木)	●都老人スポーツ大会(9:00-)町体育館	5(日)	
20(金)	●埋蔵文化財包蔵地発掘調査(-27日)逆谷地内 ●与板保健所総合相談日(13:00-15:00)	6(月)	
21(土)		7(火)	●心配ごと相談所(13:00-16:00)福祉センター ●全国下水道促進デー・同週間(-13日)
22(日)	●第21回少年少女防犯球技大会-三中ほか	8(水)	
23(月)	●地域子供会リーダー研修(-25日) ●リハビリ訓練(13:30-15:30)みしま園	9(木)	●移動交通事故相談所(10:00-15:00)与板町役場
24(火)	●心配ごと相談所(13:00-16:00)福祉センター	10(金)	
25(水)		11(土)	
26(木)	●「町政バス」9:00(役場集合)	12(日)	
27(金)	●与板保健所総合相談日(9:00-11:00)	13(月)	
28(土)		14(火)	●心配ごと相談所(13:00-16:00)福祉センター
29(日)		15(水)	●敬老の日、老人福祉週間(-21日)
30(月)		16(木)	
31(火)	●心配ごと相談所(13:00-16:00)福祉センター	17(金)	●与板保健所総合相談日(13:00-15:00)

わしらみんな老仲間



8月6日、町体育館で開かれた老人スポーツ大会、300人もの人たちが「若がえった。」

趣味を広げる六つのコース
気軽に参加できる
「生きがい教室」

高齢化社会突入が言われて久しい昨今、老後をどう生きるかが、お年寄り自身にとって緊急な課題として、ますますその重みを増しています。町でも、これらお年寄りが積極的に老後を過ごすのではなく、自分の趣味を通じて、価値ある老後を生き抜いてもらうため、六つのコースを設けて「生きがい教室」を開いています。コースは、民謡、習字、料理、製菓、焼物、盆栽とあり、延べ二百人近くのお年寄りが参加されています。「自分は何も……」などと言わずに、明日からでも教室をのぞいてみてください。参加申し込み、開催日など詳しいことは福祉係におたずねください。

今月の保健行事

対象	内容	とき	ところ
希望申込者	胃腸部検診	8月20日 受付7:00-11:00	福祉センター
"	"	8月23日 受付7:00-11:00	七日市公民館
"	"	8月25日 受付7:00-11:00	上条公民館
"	"	8月26日 受付7:00-11:00	町体育館
中学3年生 女子	予防接種 風疹	9月7日 14:00-15:00	三島中学校
小学校6年生	" ジフテリア	9月10日 14:00-15:00	福祉センター
57.5-57.6月生まれ児	3-4か月児健診	9月30日 受付13:00-13:30	"
56.11-56.12月生まれ児	9-10か月児健診	9月30日 受付13:00-13:30	"

健康伝言板

高血圧のはなし
中年になると、だれでもがまず気にかかる病気が高血圧です。高血圧は自覚症状がないために放置されがちですが、進行すると脳卒中や腎臓病や心筋梗塞をひきおこすことはご存知の方も多いと思います。この恐ろしい高血圧も食事や栄養など日常生活に注意すれば余病を防ぐことができます。自分の血圧を知って、日常生活を工夫しましょう。

今月の納税

- * 県・町民税 第2期
- * 国民年金保険料 第3期
- * 水道料 8月分
- * ガス料金 8月分



お知らせ

照会電話で
三島町役場 2221(代表)
日吉支所 長岡46-2049
ガス企業団 2671
水道企業団 与板2259

参加しませんか「町政バス」

目で見て体験する町政

より多くの町民のみならずから、町の現況や施設の概要を理解してもらい、町政に対して積極的な関心を寄せていただくことをねらいとして「町政バス」という施設めぐりを中心とした事業が実施されます。その第一回目が今月の二十六日(休)に開かれます。じかに町政にふれる絶好の機会、ぜひご参加ください。

企画調整課に申し込み

参加を希望する人は、八月二十三日までに申し込みください。募集人員は約二十人で、先着順に受け付け、定員になり次第締め切らせていただきます。当日の主な視察内容は、水道施設、消防施設、ガス施設、みしま園、長岡ニュータウン、航空レーダー基地などで、車中ではこのほか、当面する町の主要事業などについても紹介することとなります。



農作業前後の機械整備、きちんとして身なりと作業服で事前に事故を防止するとともに、作

まもなく豊かな実りの秋を迎えます。しかし、例年この時期には、指や、手足そのものを失うといった痛ましい農作業事故が多発します。

農作業事故

業中の点検、修理等は、「原動機を止めてから」という鉄則を確実に守ってください。

君は チャレンジするか

シーサイドマラソン

十月十七日に、「第四回寺泊シーサイドマラソン大会」が開かれます。種目は五、十、三十、の三種目あり、中学生以上の男女が参加できます。参加費は中学生が三百円、高校生と一般女子が五百円、一般男子が千円です。あなたのチャレンジ精神を發揮して挑戦してみたいかがでしょうか。参加希望者は、九月



体育実践のあかし
「町長賞」大宇脇野町に
体育、スポーツの振興に部活ぐるみで取り組み、その成果が著しい地区に贈られる「町長賞」町長賞は脇野町に

Smokin' Clean

たばこは 三島町の店で買しましょう

たばこは 灰皿のあるところで

が七月二十五日の町民体育祭の席上、大宇脇野町に贈られました。大宇脇野町は、各種の大会などに各年代層にわたってチームを編成して参加したり、自発的な催しを企画実施するなど、スポーツ人口の拡大に努力した功績が認められたものです。

あなたの情熱と 若さを 県警察官を募集
採用試験
県警では、高校卒の男子警察官を募集しており、次の要項で

縄文のロマンに 触れる 作業員募集
遺発掘調査
八月二十日から二十七日まで逆谷の通称「門ノ沢」で縄文遺物の発掘調査が行われます。

おわびと訂正
先月号のこの欄「毎月勤労統計調査」の調査区域に、旭町と小木城川以西の学校町とあるのは、田吉川と学校町全域の誤りでした。おわびと訂正します。

スポーツ功労賞

山田助越郎さん2人に
難波さん

山田さんは銃剣道の選手として国体に出場、難波さんは全国身体障害者スポーツ大会に「立幅跳・砲丸投」の選手として出場し、両種目とも四位に入賞するという立派な成績を挙げたものです。